

1. 高梁市の特色

自然的特色

- 本市は、岡山県中西部に広がる吉備高原に位置しており、面積 547.01km² で県土の約 7.7%を占めています。
- 市域の約 78%は山林、原野が占めています。
- 年間を通じて霧の発生が多く、高原部では昼夜の温度差が大きくなることが特徴といえます。
- 市の中央部には下三大河川のひとつ、高梁川が南北に貫流し、高梁川、成羽川及び有漢川の流域の平地に市街地が広がり、その他は、急峻な傾斜部及び起伏が激しい高原部に集落が点在しています。
- 河川の流れや水辺の風景と高原部の耕地や豊かな森林環境は、古きよき町並みを残す都市空間とのどかな農村風景があいまって、ともに美しい生活空間を形成しています。
- 豊かな自然環境と特徴的な気候風土から、ぶどう、桃、トマト、松茸、ゆず、銀杏、栗、お茶等の良質な農林産品、鮎等の水産品にも恵まれています。

歴史・文化的特色

- 備中松山城は、国の重要文化財に指定されており、現存する天守を持つ山城としては日本で最も高いところにある城としても知られ、平成 28 年度には 10 万人を超える来場者を迎えました。また、武家屋敷や古い町家、寺院等が散在し、城下町としての風情を色濃く残しています。特に紺屋川筋は「日本の道 100 選」にも選ばれ、美しい歴史的町並み景観が形成されています。
- 銅山とベンガラ製造で発展した吹屋の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。また、周辺には、広兼邸や西江邸等の邸宅があり、鉱山経営による往時の繁栄を伝えています。
- 備中たかはし松山踊りは、17 世紀から踊り継がれてきた「地踊り」と 18 世紀にはじまった「仕組踊り」に、昭和以降、農村地域から移入された「ヤトサ踊り」も加えられ、県下 3 大踊りの一つとして 3 日間にわたり大勢の人に親しまれています。
- 備中神楽は、江戸時代末期に西林国橋が神話をもとに創作した神代神楽で、国の重要無形民俗文化財に指定されており、五穀豊穰、家内安全を願い、地域の各神社の秋祭りで奉納され、岡山県を代表する郷土芸能として全国に知られています。
- 渡り拍子は、秋祭りの供奉楽として市内各地で伝承され、太鼓や拍子木、鉦等を打ち鳴らして乱舞する姿は勇壮華麗です。
- 成羽川河畔で行われる成羽愛宕大花火は、約 300 年の伝統があり、特に中国地方随一といわれる壮大な仕掛け花火は、色鮮やかで多くの人々を魅了しています。
- 本市には、江戸時代末期に備中松山藩の藩政改革を行い、幕政にも影響を与えた山田方谷、江戸時代末期の備中松山藩主で、老中首座を務めた板倉勝静、明治近代洋画壇の偉才と称された児島虎次郎、明治の教育者として女性の地位向上、女子教育に尽力した福西志計子、明治を代表する思想家、倫理学者の綱島梁川等多くの偉人を輩出しています。

社会・経済的特色

- 本市は、県中西部の拠点都市として県等の行政機能・高等教育機関・医療施設・企業等が集積し、発展してきました。
- 本市と他地域を結ぶ交通機能としては、国道、高速道路、鉄道が整備され、岡山空港にも近接しています。
- 高速交通網としては、中国地方の南北を貫く中国横断自動車道岡山米子線が整備され、日本海と太平洋が一本の高速道路で結ばれており、広域的な交流が進んでいます。また、高速道路を利用した岡山市内までの所要時間は約 50 分となっています。
- 地域の基幹的な広域道路としては、国道 180 号、313 号、484 号の 3 路線が整備されており、主要地方道等県道、市道とともに、全域の道路ネットワークを形成しています。
- 山陽と山陰を結ぶ JR 伯備線が本市の中央部を南北に走っており、特急停車駅である備中高梁駅から岡山市内までの所要時間は約 30 分です。
- 利便性の高い交通網と豊かな自然環境や歴史文化に彩られた地域特性を背景に、大学等の高等教育機関が集積しており、地域や行政、民間企業等と連携した学園文化交流都市づくりが推進されています。



※「旧朝霧温泉ゆらら」へのアクセス

- ・岡山自動車道・賀陽 I C から車で約 25 分、有漢 I C から約 35 分
- ・J R 伯備線・備中高梁駅から車で約 10 分
- ・岡山空港から車で約 1 時間

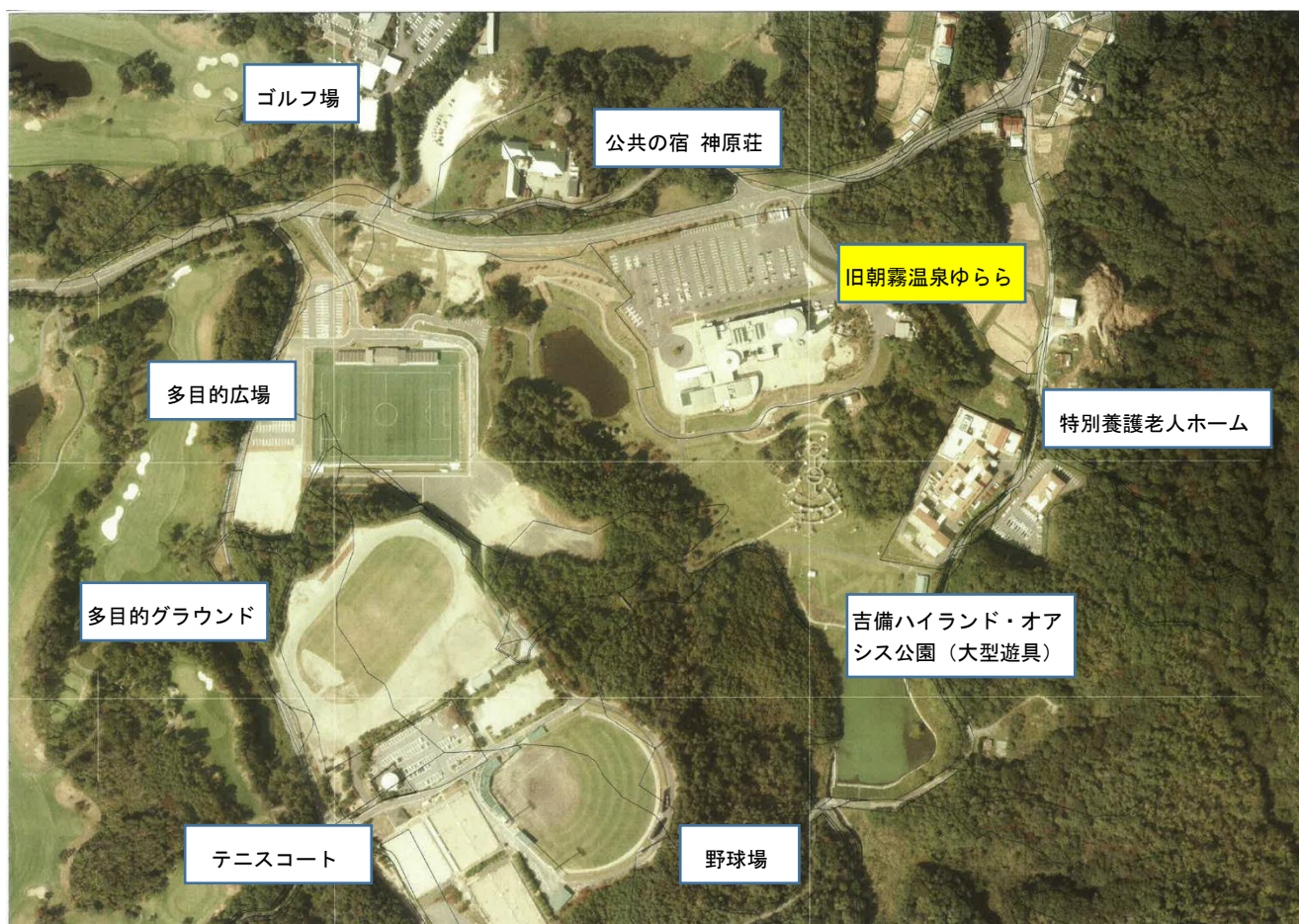
2. 「旧朝霧温泉ゆらら」の立地環境

「旧朝霧温泉ゆらら」は、高梁市のほぼ中央に位置し、周辺は吉備高原西部地域の特性を活かした保養・交流の拠点として、リゾート・スポーツ・レクリエーションを日常生活の一部に取り入れた新たなライフスタイル実現、また、年間を通じ多様な交流活動が展開される活力に満ちた場づくりによる中山間地域の活性化を目指すエリアとなっています。

「旧朝霧温泉ゆらら」は、生涯を通じた健康づくり、高齢者介護予防事業などを推進し、地域住民をはじめ多くの人々が日々の肉体的、精神的な疲れを癒し、真に安らぎを感じることのできる健康増進の総合的施設として市民の健康増進に寄与していました。

「旧朝霧温泉ゆらら」の周囲には、野球場、テニスコート、多目的グラウンドなどのスポーツ施設のほか、宿泊施設やゴルフ場が立地しています。

施設		規模
神原スポーツ公園	野球場	19,000 m ² 収容人数 3,000 人 照明塔・管理室・放送室・本部室・トイレ・更衣室
	テニスコート	オムニコート（全天候型）10 面 夜間照明・クラブハウス（木造ログハウス・更衣室・トイレ・テラス）
	多目的グラウンド	25,000 m ² 観覧席 1,002 席 天然芝フィールド 8,006 m ² 1 周 400m8 コース・照明塔・クラブハウス（平成 30 年 2 月改修完了予定）
	多目的広場	人工芝フィールド 9,600 m ² 照明塔・クラブハウス
公共の宿神原荘		定員 80 名、宿泊室 15 室、大広間（24～72 畳）、大浴場、駐車場ほか



3 旧朝霧温泉ゆらら施設・用地の情報

(1) 建物

① 名称 「旧朝霧温泉ゆらら」
(この事業の中ではこの名称を使用することとします。)

② 所在地 高梁市松原町神原 2 2 8 1 番地 4

③ 建物

項目	内容	備考
主施設の構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地下1階 地上2階	
主施設の延床面積	1階 3,575.48 m ² 2階 896.49 m ² その他 274.18 m ² 合計 4,746.15 m ²	
主施設の概要	1階 事務室、レストラン、厨房、大広間 更衣室、プール、砂風呂 2階 風呂、リラックスルーム 地下 機械室 ※施設見取り図 別紙のとおり	

(2) 施設用地

① 区域 松原町神原 2 2 8 1 番地 4

② 登記地目 雑種地

③ 地籍 4 9, 3 4 2 m²



(平成 2 9 年 5 月撮影)